

2020 年度 桐朋女子中学校入学試験 (A 入試)

口頭試問 課題用紙

【注 意】

- (1) 指示があるまで、開いてはいけません。
- (2) 指示にしたがい、受験番号と氏名を書きなさい。
- (3) 課題についての質問はできません。
- (4) この用紙は、口頭試問の部屋でも見ることができます。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【課題 1】

日本とブラジルで「1年間に降る、すべての水の量」は、どちらの国が多いか、資料①と地図を参考にして答えなさい。またなぜそう考えたのか、理由を答えなさい。

資料① 年平均降水量

	年平均降水量(mm/年)
日本	1668
ブラジル	1761



どちらの国が多いか

その理由

【課題 2】

日本に比べ、ニュージーランドとカナダはなぜ「一人の人が使える水の量」が多いのか、黒板にある式とグラフ、そして資料②を参考にして答えなさい。

資料② 3つの国の統計データ

国名	年平均降水量 (mm/年)	面積 (万km ²)	蒸発する水の割合 (%)	人口 (万人)
日本	1668	38	32	12657
ニュージーランド	1732	27	30	453
カナダ	537	999	46	3594

「平成 30 年度版日本の水資源の現況^{げんきょう}」より

日本とニュージーランド

日本とカナダ

【課題3】

1. 60年前と現在の桐朋女子中学校の周辺の写真を比べ、読み取れることを答えなさい。

2. 1の答えをふまえて、学校周辺の水の使われ方にどのような変化が起こったと考えられるか、資料③も参考にして答えなさい。

資料③ 仙川町・若葉町の人口の変化

年	人口(人)
1965年	6407
2019年	13614

「調布市統計^{がいよう}概要」などより作成

※仙川町・若葉町は桐朋女子中学校がある町やその近くの町です。

【課題4】

1. 家庭の中で、私たちは水道水をどのような目的で使っているのか、例を参考にして、考えられるものをできるだけたくさんあげなさい。

どのような目的
(例) 顔を洗うため

2. 1の答えをふまえて、水道水の使われ方の多くに共通していると思われることは何か、答えなさい。

--

【課題5】

現在、約1億2千万人いる日本の人口は、2060年には約8千6百万人になると予想されている。この人口の減少が、水道水を使う私たちにどのような影響^{えいきょう}を与え^{あた}ると思うか、「水をつくる」ことや「水を運ぶ」ことにふれながら、説明しなさい。

